



町長室だより

築上町長 新川 久三



「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、まさにそれを実感する今日この頃です。

第3回議会定例会

平成30年第3回築上町議会定例会が9月6日から約2週間の会期で開かれました。今年度の一般会計補正予算、前年度の決算、条例制定、介護保険広域連合の規約変更、消防自動車等物品の購入契約、人権擁護委員の推薦について意見を求める案件など、計21件の議案について審議を行い、全て可決されました。

このうち平成29年度の決算については、一般会計では、歳入が約131億円、歳出が約116億円弱、差し引き約16億円で、次年度に繰り越す一般財源(税等)1億円を差し引くと、実質14億5千7百万円強の黒字でした。その他、特別会計においても良好な決算となっています。

また、「築上町不当要求行為等の防止に関する条例」制定についての議案も可決されました。本町においても過去に数例不当要求行為があり、また暴力団排除の観点から、不当な要求をなくすために制定することといたしました。詳しくは町ホームページをご覧ください。総務課行政係までお問い合わせください。

オセアニアから築上町へ

今年3月のトライアルキャンプに続く第2陣として、9月から10月にかけて、オセアニア地域のグアム、ナウル、マーシャル諸島の5名のレスリング選手が築上町でキャンプを行っています。

今回は、ハンガリーで行われる世界選手権に向けた事前キャンプを兼ねており、選手はコミュニケーションセンターや築上西高レスリング道場で、築上西高レスリング部員やO

Bと真剣に練習に取り組んでいます。築上西高レスリング部OBで日本体育大学レスリング部に所属する有延大輝さんも帰郷し、東京オリンピックを目指す者同士、練習相手として頑張っていました。

5名の選手たちは、小中学校や築城特別支援学校での交流や練習の公開、一般家庭へのホームステイなど、町の皆さんと触れ合う機会も持ちます。ホームステイのホストファミリーをはじめ、英語ボランティアの皆さん、町内の整骨院、旅館などキャンプ開催にあたり多くの方にご協力をいただきました。本キャンプ終了



後、選手たちは築上町から世界選手権に向け出発する予定です。

ジョイフル福岡センター

本町に企業進出した株式会社ジョイフル福岡センターの竣工式が10月7日に行なわれます。従業員の雇用もほぼ完了し、新規雇用(パート)うち3分の2(約60名)が本町からの雇用とのことです。

福岡センターで生産されるハンバーグなどの製品をふるさと納税の返礼品として追加できるよう、現在ジョイフル本社と協議をしていますので、近い将来実現することと思います。

また、センターの横には「ジョイフル・カレッジ」と称する従業員の研修所の建設も始まります。収容人員80名とかなり大きな施設で、4月からの新入社員の研修等に利用されることとです。

読書の秋、スポーツの秋、文化の秋。素晴らしい季節が参ります。町民の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。